

# 県内4市すべて了解

## 3号機審査 雲南市、中電に伝達

中国電力が島根原発3号機(松江市)の稼働をめざして国の安全審査を申請することにについて、雲南市は27日、了解することを中電に伝えた。これで県を除き、立地自治体の松江市と30市圏内の3市の県内4市すべてが了解を伝えた。

雲南市役所を訪れた中電の岩崎昭正・島根原子力本



中電側に了解を伝える雲南市の速水市長(右)と市役所

部長に、速水雄一市長が了解するとした文書を手渡しした。その際、速水市長は「住民の安全が最優先。立地自治体並みの安全協定を求めると強調した。了解の文書にも、こうした安全協定の締結や広域避難計画への関与などを求める7項目を意見として記した。

速水市長は取材に対し、「原発が動くにあたっての安全性は、きちんと審査されなければならない。市民のいろいろな意見には真摯に耳を傾けるが、電力会社からも丁寧な説明がなされるべきだ」と語った。

(木脇みのり)